

用語解説

あ 行	IT (アイティー)	Information technology(情報技術の意) コンピューターやネットワークといった情報処理関連の技術の総称。
	インフラ	インフラストラクチャーの略称 産業基盤。経済基盤。社会的生産基盤。(国民福祉の向上と国民経済の発展に必要な公共施設)を指す。
	AED(アイーディー)	自動体外式除細動器 心室細動の心停止をしてしまった人の心臓のリズムを心臓に電気ショックを与えることにより再び正しいリズムに戻し、蘇生するための治療機器。 使用方法は音声ガイダンスに沿って操作する。 (心室細動か否かの判断はAEDが自動的に行う。)
	NPO(エヌピーオー)	Non Profit Organization の略語 民間非営利団体。 非営利で社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体のこと。活動範囲は環境・福祉・国際交流等と多岐にわたる。
か 行	介護保険制度	要介護状態になったときに、保険料を主たる財源とする社会保障方式により在宅介護、または施設介護にかかわる一定の給付を行う社会保険制度。
	環境アセスメント	環境影響評価。 大規模な開発事業を行う場合、それが周辺の環境にどのような影響を与えるかについて、事業者が、事前に調査、予測及び評価を行うとともに、環境を守るための対策を検討し、その対策が成された場合における事業の与える環境への影響を総合的に評価すること。
	機関委任事務	地方公共団体の首長(都道府県知事、市町村長)等が法令に基づいて国から委任され、「国の機関」として処理する事務のこと。
	クリーンエネルギー	化石燃料の燃焼や原子力などと違って、廃棄物によって環境を汚染することのないエネルギー。 例として、太陽光発電システム、水力・風量発電など。
	グリーンブルーツーリズム	農山漁村生活や農村漁業体験を通し、地域の人々と交流したり、川や海、田園景観などふるさとの風景を楽しむ余暇活動。
	グローバリゼーション	「人、物、金、情報」などの移動が国境を超えて盛んになり、政治的・経済的・文化的な境界線、障壁がボーダレス化することで社会の同質化と多様化が同時に進行するような「世界規模化」のこと。

さ 行	シルバー人材センター	定年退職後も仕事を望む高齢者に対して、仕事を紹介する自主的な会員組織。
	少子高齢化	生まれてくる子どもの出生数が減り高齢者が増え、さらに高齢者の寿命が延びること。
	生涯学習	人が生涯にわたり学び・学習の活動を続けていくこと。
	ジュニアリーダー	子ども会を中心に地域活動を行う青少年のこと。
	スクールカウンセラー	教育機関において心の問題に対応するために、助言をするなどして心のケアを行う専門家。
	セーフティネット	社会的・個人的な危機に対応する方策。雇用保険、生活保護、年金、預金保険、融資に対する信用保証など。安全策。
	生物多様性基本法	生物の多様性の保全及び、持続可能な利用について基本原則を定め推進するために必要な国、地方公共団体の基本となる施策を定めた法律。
	全国瞬時警報システム (J-ALERT)	気象庁から送信される気象関係情報や内閣官房から送信される有事関係情報を地方公共団体に送信し、市町村の同情報系防災行政無線を自動起動し、住民に緊急情報を瞬時に伝達すること。
た 行	地域コミュニティー	地域住民が生活している場所（消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭りなど）に関わり合いながら、住民相互の交流が行われている地域社会、あるいは集団を指す。
	地産地消	地域生産地域消費の略。地元で生産されたものを地元で消費すること。
	千葉県総合防災情報システム	災害時における県庁と県出先機関、市町村等の間で被害情報、指示情報等の収集・処理の迅速化を図るとともに、気象情報、地震情報等の防災に関する各種情報を関係機関や県民と共有して、的確な防災対策の遂行に役立てることを目的としている。
	デマンド交通	高齢者などの交通弱者を対象に、自宅から目的地まで乗り合いタクシー方式による送迎サービス。
な 行	ニーズ	(Needs) 欲求、要求、需要 人間が生活を営む上で感じる、「満たされない状態」のこと。
	にこにこサービス	外出支援サービス。 一宮町内にお住まいの65歳以上の方と、体の不自由な方を対象とした一宮町内全域を送迎するサービス。
	ノーマライゼーション	障害者と健常者が同じ条件で生活を送ることができる成熟した社会に改善していこうとする考え方。

は 行	パブリシティ	企業や団体が、マスコミなどに対して積極的に情報公開するなどして、報道されるよう働きかけること。
	パブリックコメント	公衆（国民・住民・市民）の意見 公的な機関が規則などを定める前に、その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることによって、よりよい行政を目指すもの。
	パーソナルコンピューター	パソコン、PC（ピーシー）と日常的には略されている。
	バリアフリー	障害を持つ人や高齢者が社会生活を営む上での障壁（バリア）となるものをなくすこと。 例として、階段の代わりに緩やかなスロープをつけたりすることが挙げられる。
	ボランティア	自発的に自由意志でなんらかの奉仕行動を行うこと。
ま 行	民生委員児童員	社会奉仕の精神をもって、地域社会の生活に困窮している人だけでなく、児童や心身に障害を持つ人、あるいは高齢者などのことで問題をもっている人々に対して、身近に相談や助言指導にあたる地域の奉仕者。
	モータリゼーション	自動車社会が進行すること。 英語で「自動化」「自動車化」の意味
や 行	ユニバーサルデザイン	年齢や障害の有無・レベルにかかわらず、最大限利用可能なかぎり全ての人に利用しやすい環境と製品のデザイン。 「全ての人のためのデザイン」
ら 行	レクリエーション	余暇、レジャー。 日常生活の疲れを癒すための休養や気晴らし、または娯楽のこと。
わ 行	ワークライフバランス	ワーク（仕事）とライフ（私生活）の調和を図り、子育てや介護、自己啓発、地域活動等を自分が望むバランスで実現できる様にすること。